

58
5760BT
4

152	3/	20	永
保期	發付迄	完結迄	永
期	機		美

綴書類

昭和10年10月2日起案
起案者 松印

昭和拾月年拾月拾日發付後起
松印

主務局、部
取扱者捺印
起案部紙甲（花崎納）

(主務) 軍務局長

第二課長

副官

大臣閣

次官

書記官

經理局長

第二課長

松本

軍務局長

第二課長

局員

松本

松本

訓令案

昭和十年十月十六日

大臣

佐鎮長官宛

廢兵罷無償下附一件訓令

號番

官房第四三五六號

再

臣

局、部	官房	軍務	人事	教育	軍需	醫務	經理	建築	法務	航空	艦政	軍令
受月日	10.10.16	10.10.16										
發月日												

經理局長
10.10.16
松本

10.10.15
松本

佐世保海軍軍需部在庫ノ左記廢兵器ヲ附記ノ者ニ無償
下附方取計フベシ

但シ現品搬出ニ要スル費用ニ下附ヲ要スル者ノ負担トス

一、四十口至十五種砲通常彈

四個

一、四十口至十二種一聯砲甲彈

一二個

右台灣高雄州東港郡東港神社境内建設大日本帝國
軍艦海門乘組將士殉職記念碑備付用記念品トシテ同碑建
設委員長谷義康ニ付シ下附

(終)

官房第四三六號ノ二

昭和十年十月十六日

(台灣總督府館印)

台漢 高陞州東港不
有奉帝南年航協門東報將出殉職忠念碑
建設李勇長為義家

宛
海軍省副官
陸軍省
拾月拾六日發布

廢兵器無償下附ノ件通知

八月二十八日附出願ノ本件 佐世保

海軍軍需部保管ノ左記品ヲ

下附ノコトトシテ詮議相成其ノ旨同鎮守府司令長官ニ訓令セラレ

候條御了知ノ上現品ハ前記軍需部ニ照會受領相成度

但シ荷造及運搬ニ要スル費用ハ全部貴方ノ負擔トス

記

十五種彈丸 罰

十二粒彈丸 一二個



軍需局長

佐鎮第三一號ノ八三ノ二

昭和十年九月三十日

第一課長

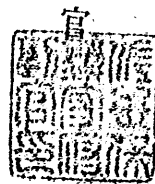
佐世保鎮守府副官

海軍省軍需局第一課長殿

廢兵器無償下附願ニ關スル件照會

内地第二五八六號ヲ以テ台灣總督府總務長官ヨリ進達ノ首題ノ件ハ最モ時宜ニ適シタル計畫ト認メ是非共實現致サセ度候條認許ニ關シ可然御配慮相成度

(終)



海

軍



軍需局

副官

從銀第一號ノ八三ノ二

昭和十年九月三十日

第一課長

佐世保鎮守府副官

海軍省軍需局第一課長殿

廢兵器無償下附願ニ關スル件照會

内地第二五八六號ヲ以テ台灣總督府總務長官ヨリ進達ノ首題ノ件ハ最モ時宜ニ適シタル計畫ト認メ是非共實現致サセ度候條認許ニ關シ可然御配慮相成度

(終)

海軍省

松永



海

軍

軍需

10.10.4

接受

九月

九月

軍需局

相成度候也

首題ノ件ニ關シ高雄州東港郡守ヨリ別紙ノ通願出有之候條可然御取

廢兵器無償下附願進達ノ件

内地第百五十八號

次官殿

第一課長

人事部長

經理部長

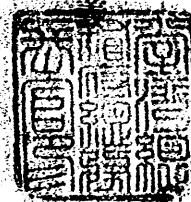
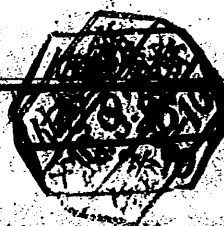
昭和十年九月十六日

臺灣總督府總務長官 平塚 廣

長官	參事	副官	佐世保
佐世保	佐世保	佐世保	佐世保
佐世保	佐世保	佐世保	佐世保
佐世保	佐世保	佐世保	佐世保
佐世保	佐世保	佐世保	佐世保

佐鎮接受
10.9.23
午前8-1
佐鎮接受
10.9.23
午後4
佐鎮接受
10.9.23
午後4
佐鎮接受
10.9.23
午後4

佐鎮接受
10.9.30
午後4
佐鎮接受
10.9.30
午後4



臺灣總督府

昭和十年八月二十八日

東港郡岸谷義

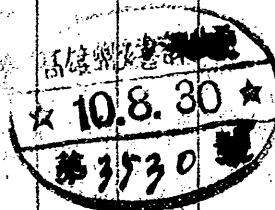
海軍大臣殿

東港第八二二號

廢兵器無償下附一件出願

一出願理由

明治三十九年五月十一日我帝國軍艦海門八本島沿岸警備ト土匪討伐援護ノ任務ヲ帶テ東港沖ニ碇泊中糧食補給ノ為乗組海軍大尉谷本隆次郎氏以下八名瑞艇ニ乗リ折柄ノ荒天ヲ冒シ東港ニ上陸セシ際不幸ニシテ瑞艇覆没ノ厄ニ遭キ乗組諸君



東港郡岸谷義

セラレル忠勇義烈ノ將士ヲ記念セントスルモノナリ
 而シテ從來東港海岸崩子頂ニ建設シアリシ碑ハ既ニ
 幾星霜爾東港風沐雨碑銘ニ消磨ヒテ以テ昨
 年ノ海軍記念日ヲトシ街民有志ノ努力ニ依リ新
 木ヲ建設シ慰靈祭ヲ執行セリ然レ共殉難將士ノ碑
 トレテ余一其ノ碑質朴ナルヲ遺憾トシ今東港
 神社建設ヲ機トシ境内ニ之ヲ移築シ別紙設計圖
 ノ通り有之廢兵器ヲ出願ニ及ヒテ次ナリ
 一 備付場所
 別紙位置圖ノ通り
 三 工事完成期日
 現品到着ノ日より二週間以内
 四 下附希望品名



15 大 砲 彈
12 小 砲 彈

大 徑 六 寸 内 外
小 徑 四 寸 内 外

四 個
十二 個

佐々木 廣
平 呂 聖 王 氏 御 葬 儀
佐々木 廣
四 十 五 五 十 五 五 五

二 五 五 五 五



通 達
一 號 徹 中
五 五 五 五 五

4
破彈

大 輕 六寸内外
小 徑 四寸内外

四個
十二個

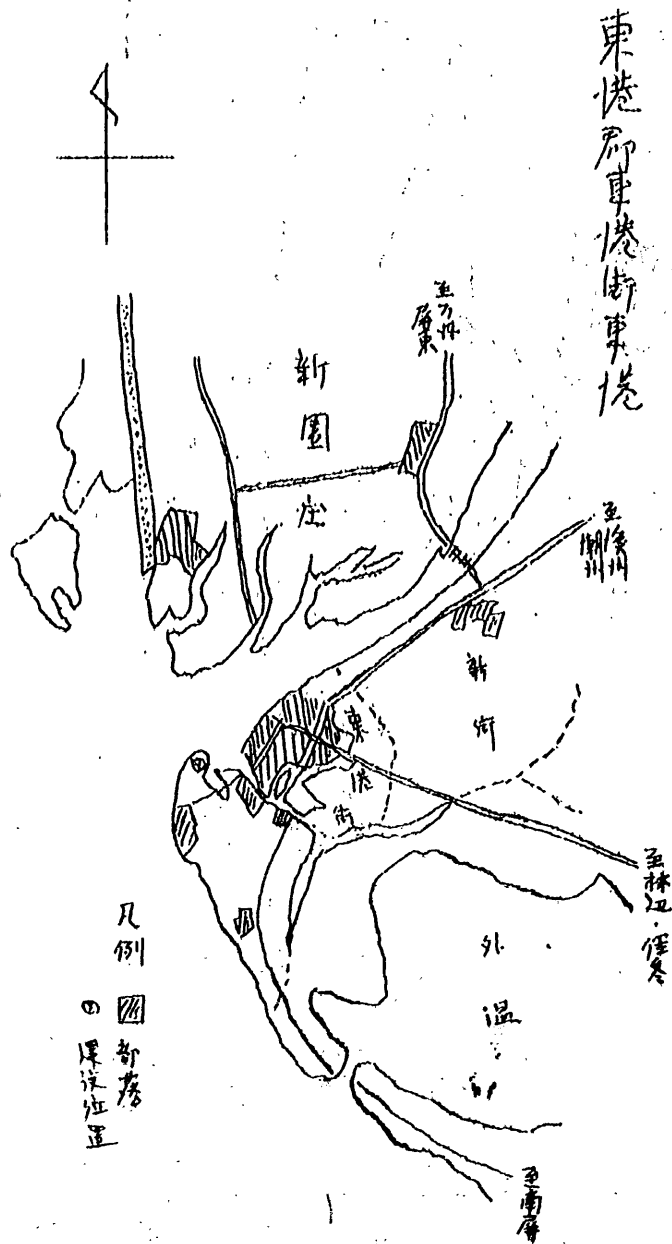
佐々木 彦三郎
四十五 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

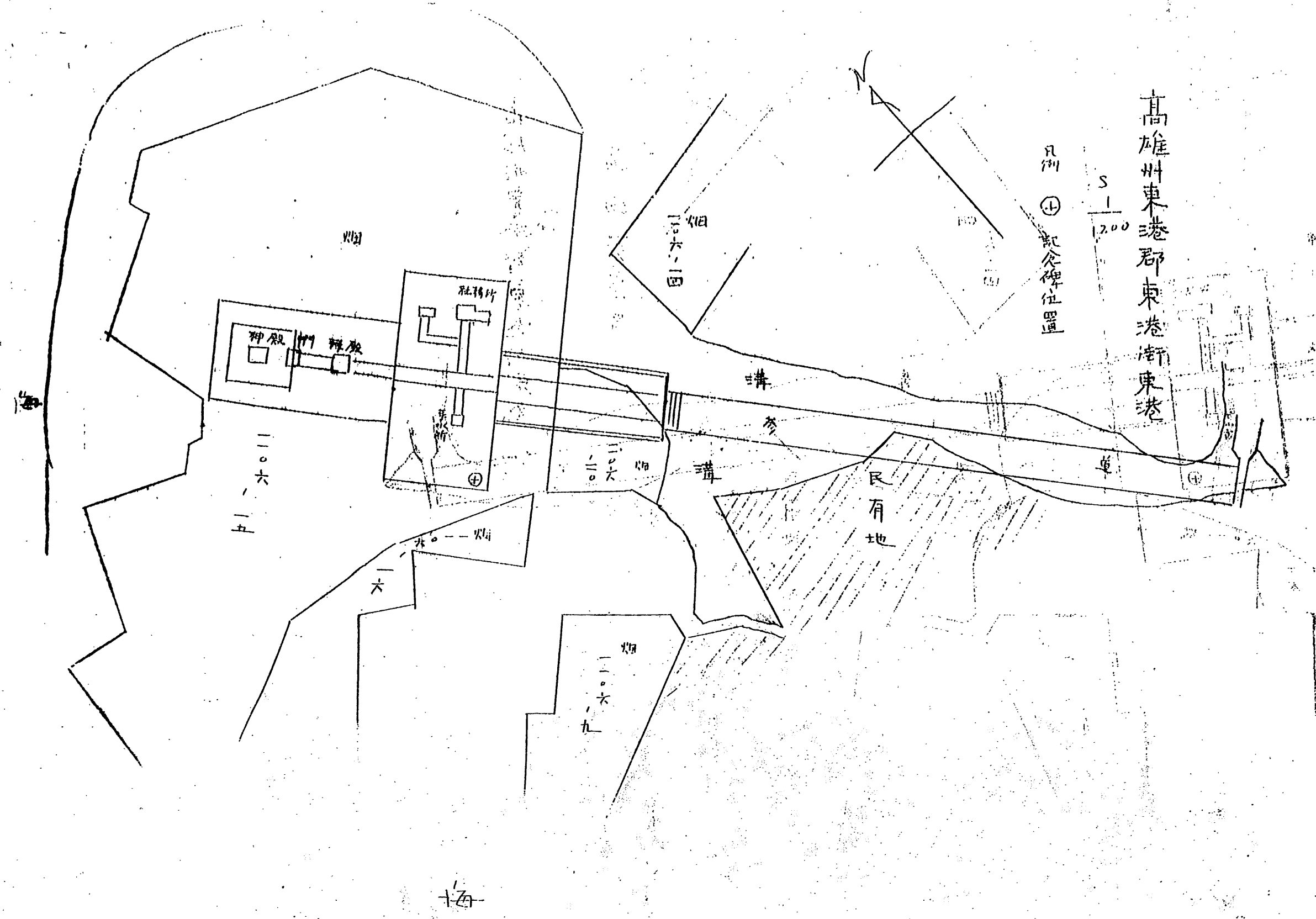


在 庫 数
通 常 彈 二七個
一號 徹 甲 彈 七四個

1418

東 洋 火 藥 工 業 有 限 公 司





1421

日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事設計書

設計書

一金六百糸也

但し大日本帝國軍艦海門乗組將士殉職記念碑建設工事

内訳

名	品	高	厚	数量	単位	單價	小計	備	要
水盛皿	形			一	リ		五〇〇		
基礎杭	内地杉	九尺	米口全要九	二五	リ	一五〇	三七五〇	打込ミ手間共	
全	全	六尺	米口全要九	二四	〇	一リ	二四〇〇	全	
基礎石	礎石	八尺	米口全要九	一四	〇	一六	二二四〇		
混凝土	川砂利	一七		一	セ	七五	一三七五	鉄筋混凝土用	
全	川砂利	一七		一	ニ	六五	七六〇		
栗石	玉	八寸		四	七	二四	一〇八〇	混凝土用	
全	礎石	八寸		五	八	一六	九二八〇	練積用	

名 稱	品 種	高 度	敷 量	單 位	單 價	小 計	摘 要
モルタル	砂 ^{セメント} 三		三 リ	切	六〇〇	一八六〇	練積用
人造石洗炭			二 リ	面坪	四〇〇〇	八四〇〇	
鉄筋計	軟鋼		一五 〇	貫	三五〇	四三七五〇	
石工工事			一 リ	式		二 リ	
金 物			一 リ	金		三 リ	鎖其他取付用
雑工事			一 リ	金		八 六	仮枠其他
計						六〇〇 〇〇〇	

大日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事仕様書

一 大日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事仕様書

一 記念碑 第壹部 混凝土造り

寸法

敷巾 拾八尺四寸
高さ 地盤ヨリ碑石上端迄 拾四尺五寸

壹基

第貳部 右仕様

一 位置 本工事ハ別紙配置見係員ノ指示ノ各所ニ建設スルモノ

一 役設工事

本工事用材料置場下小屋係員詰所等係員ノ指示ニ依リ建設ナ
五事竣功ト全時ニ取拂跡尻付ヲ共モ充分ナスベシ

一 水盛遣形其他

記念各隅々水杭置固ニ打込ミ杭頭矢筈ニ切揃ヘ係員立会ノ基
ニ水平ニ水盛ナシ水貫大貫鉋削リノ上通り能ク打付ケ真墨其
他ノ符号ヲ記スベシ

一 基礎工事

一 杭水各廿法圖面ニ基キ水拆ヘナシ係員ノ指示ニ依リ掘當ノ法
ヲ持テ打込ムベシ

基礎面ニ其キ掘形ナシ下地充分搗締トシ上栗石小綿立ニ並
ベ立テ大端ニテ充分搗堅メ目潰砂利共モ入レ更ニ全様搗堅ハ
ベシ

一 混泥土工事

攪拌各付圖面ニ係員ノ指示ニ依リ板割ヲ持テ堅固ニ且ツ漏水
セザル様取り計クベシ
混泥土左記調合ニ依リ乾練先水練共モ同一色ヲ足スル迄練
下地各充分水洗ヒテ後付法圖面ニ依リ打ケ込ミ上端ヲ陸ナキ
様充分搗キ締ムベシ

記

一 基礎其他用セメント壹川砂參川砂利六（貳分以上壹廿目以下）
一 鉄筋混泥土用セメント壹川砂貳川砂利四（貳分以上八分目以下）
但シ玉石混泥土ハ係員ノ指示ニ依リ栗石面ノ接觸セザル様注
意スベシ

一 混泥土モルタル用材料

一 セメントハ淺野スハ小野田製ノ貳種トシ所定ノ検査ニ合格ス

ルモノトス

一 砂ハ川砂ニシテ泥土塵埃其他ノ不純物ヲ含有セザル硬質ノモ

ノトス

一 砂利ハ川砂利ニシテ泥土塵埃其他ノ不純物ヲ含有セザル硬質ノ

- モノニシテ所定ノ方法ヲ有シ數回清水ニテ洗滌ナシタルモノ
トス
- 一 仮拌取外シハ混凝土ノ硬化ヲ見計ヒ係員ノ指示ニ依リ入念取
外スベシ
- 一 養生混凝土打テ片上塗施行後ハ直接日光風雨ニ曝サレル様濡
選其他ノモノニテ覆ヒヲナシ日々數回撒水ナスベシ
- 一 石積工事
- 一 積石硃碇石各壹尺以上ノ硬質ノモノニテ積モルタルセメント
壺川砂參ノ配合モルタルニテ敷ト口注ギト口共モ充分施シ所
定ノ高サニ積上ルベシ
- 一 金物工事
- 一 本工事用砲彈其鎖ハ支給ス 但シ鎖取付ケ金物ハ係員ノ指示
ニ依リシヲ調製スベシ
- 一 碑石ハ支給ス 碑石ニ彫込ハ文字ハ係員ノ指示ニ依リ入念彫
込据リ能ク堅固ニ取リ付ケノコト
- 一 殉職將士名ハ拾寸ス銅板ニ彫リ込ミ係員ノ指示ニ依り碑石
裏側ニ堅固ニ取リ付ケノコト
- 一 左官工事
- 一 石積ノ各所ハ下地充分水洗ヒノ後セメント壺川砂貳ノモルタ
ルニテハ念化粧固地仕上ゲトス

一人造石洗炭塗り然キ下地充分水浸ヒ、後セメント壺川砂参ノ
 モルタルニテ塗り立チ中塗りセメント壺石灰、五リ割合ニテ
 形板使用シ通り能リ塗り立チ上塗り下付ケセメント壺石灰、
 五上塗りセメント壺石灰参ノ割合ニ充分練合セ塗り立チ形
 板使用押ハ鏝共ニ充分ナシ硬化ラ見計ヒ耐ナキ様洗炭仕上
 ゲトス石粒ハ総テ花崗石トス
 但し正面台ニハ係員ノ指示ニ海軍章ノ浮込飾ヲ付スルコト
 一砂利敷砂利ハ州砂利ヲ持テ各面ノ通り入念敷タルベシ
 一砂利ハ条貳分同以上、大分目以下ノ砂利トス
 一本五事用材ハ総テ係員ノ検査ヲ受ケ合格シテ使用スベシ
 一本五事中細部ニシテ技術上ノ常識ニ照ラシテ必要ト認め
 ルモノハ設計書仕様並ニ面ニ明記ナシト雖モ係員ノ指示ニ依
 リ直チニ施ラ行スベシ

以上

昭和十年八月二十日

東港郡守 谷 義康

海軍大臣殿

東港縣第八之五號

廢兵器無償下附、件出願

一出願理由

明治三十年五月十一日我帝國軍艦海門ハ本島沿岸警備ト土匪討伐接獲ノ任務ヲ帶ヒ東港沖ニ碇泊中糧食補給ノ為乗組海軍大尉谷本茂次郎氏以下八名瑞艇ニ乗レ折柄ノ荒天ヲ冒シ東港ニ上陸ヤントシタル際不幸ニシテ瑞艇覆没ノ厄ニ遭ヒテ全乗組ノ殉職



東港郡役所

セラレタル忠勇義烈ノ將士ヲ記念セントスルモノナリ	而シテ從來東港海岸崩子頂ニ建設シアリシ碑ハ既ニ	幾星霜爾來御風沐雨碑銘ニ消磨スルヲ以テ昨年	ノ海軍記念日ヲトシ衛民有志ノ努力ニ依リ新碑	木ヲ建設シ慰靈祭ヲ執行セリ然レ共殉難將士ノ碑	トレテ余ノ其ノ碑質朴ナルヲ遺憾トシ今田東港	神社建設ヲ機トシ境内ニ之ヲ移築シ別紙設計圖	ノ通ニ有之廢棄器ヲ出願ニ及ヒタル次ナリ	二 備付場所	別紙位置圖ノ通	三 工事完成期日	現品到着ノ日より二週間以内	四 下附希望品名
---------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	----------------------------	---------------	----------------	-----------------	----------------------	-----------------

1431

砲彈

大 口径 六寸内外

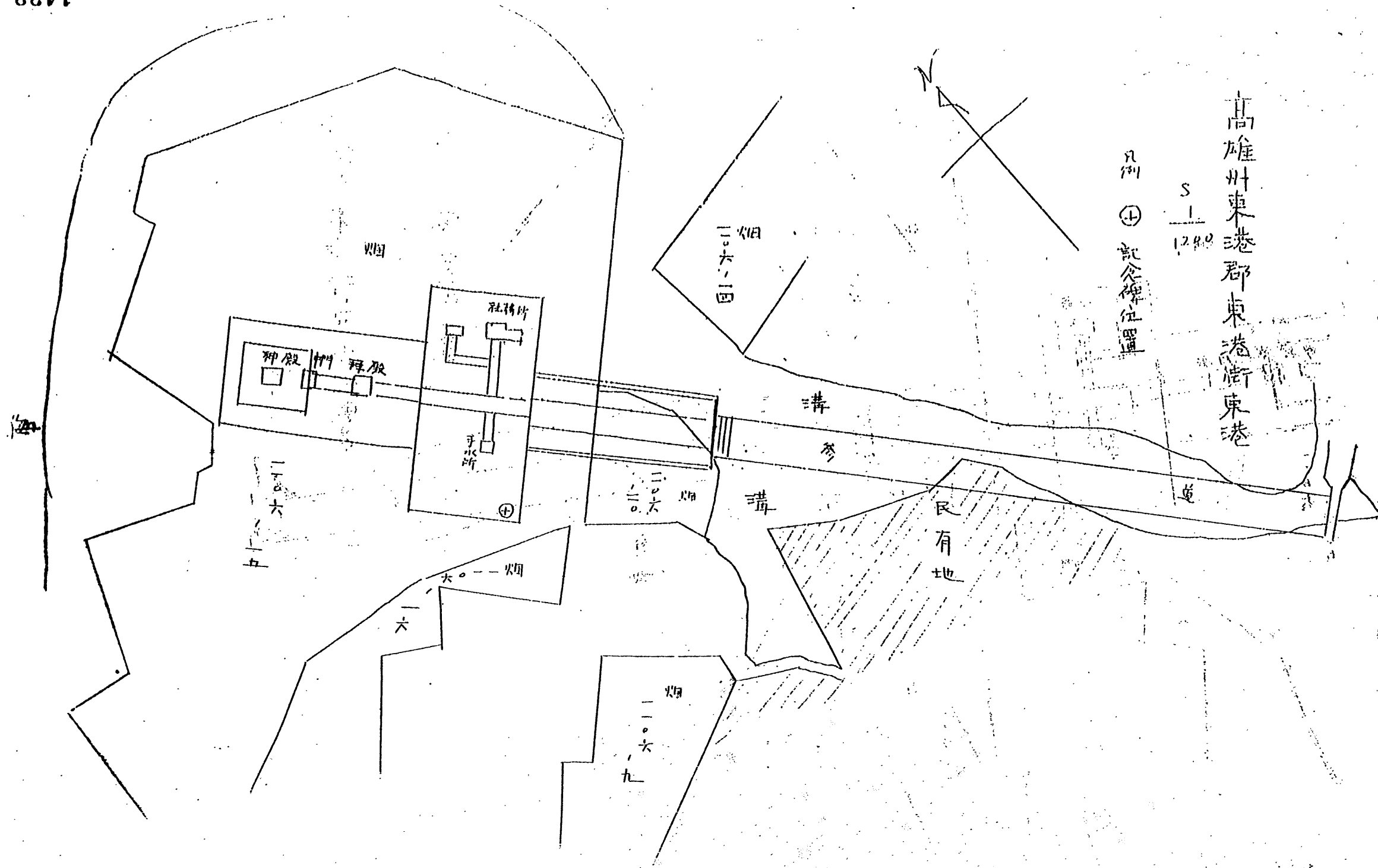
四個

〃

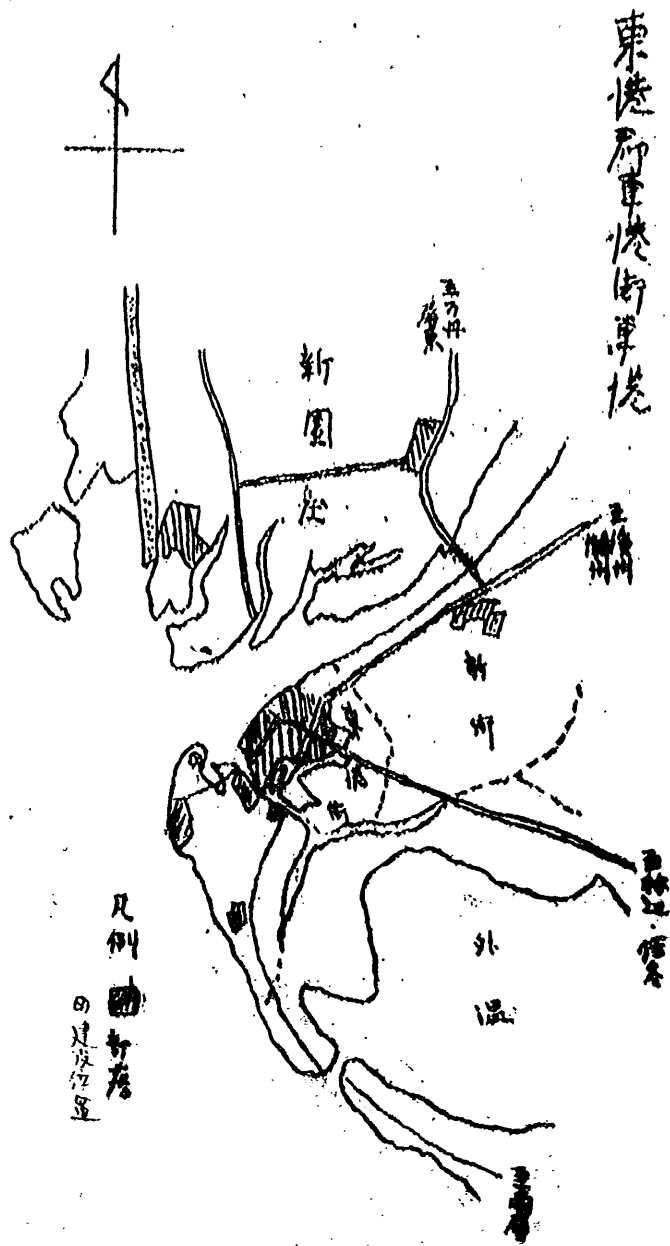
小 口径 四寸内外

十二個

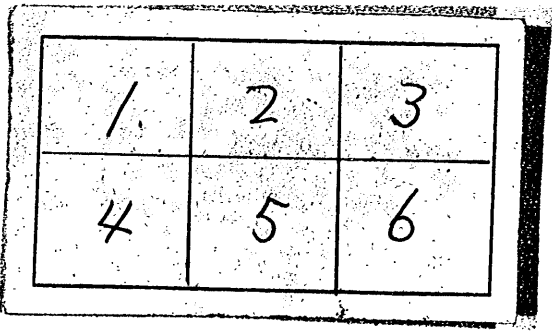
東 港 部 役 所

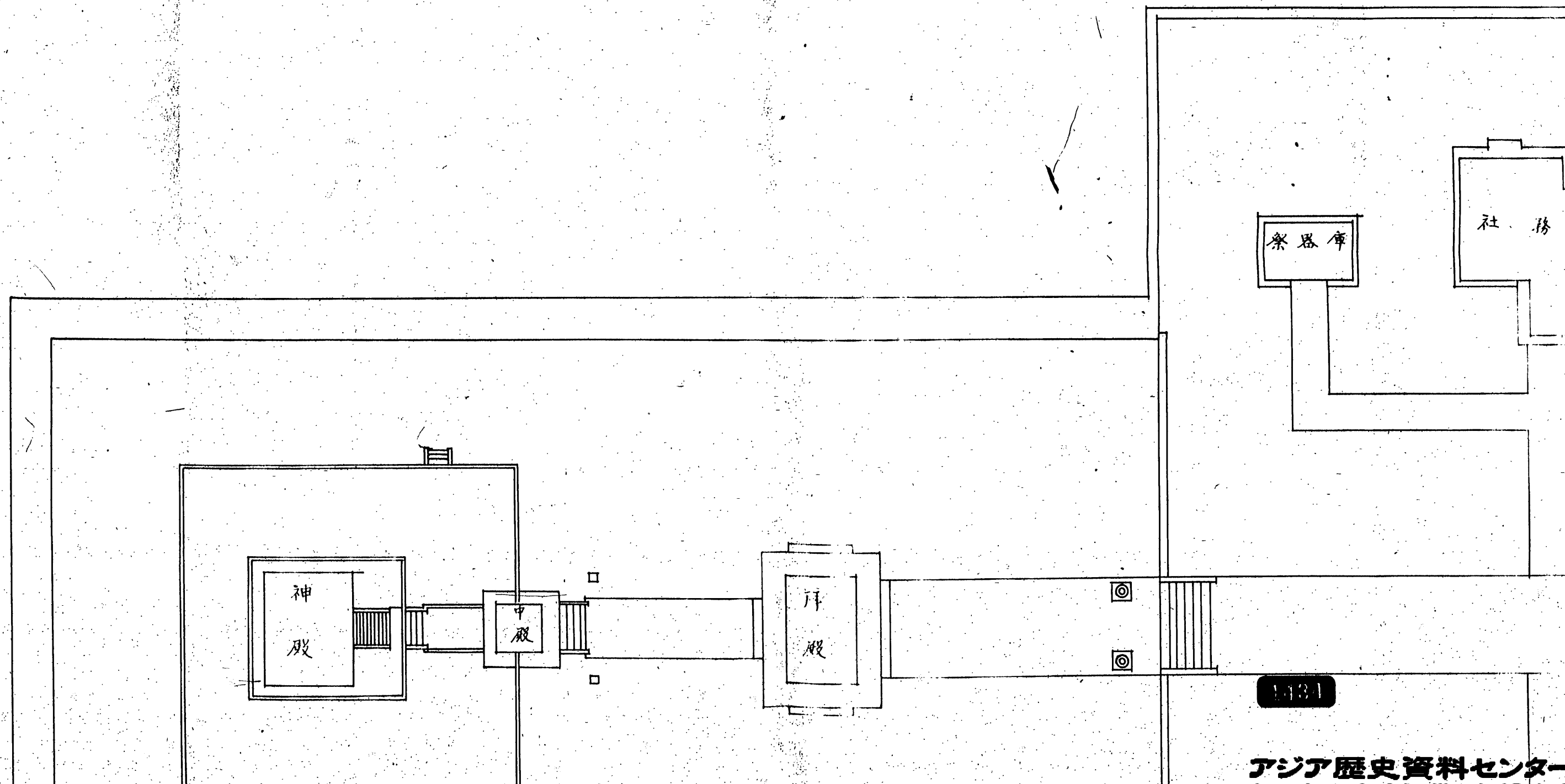


1433

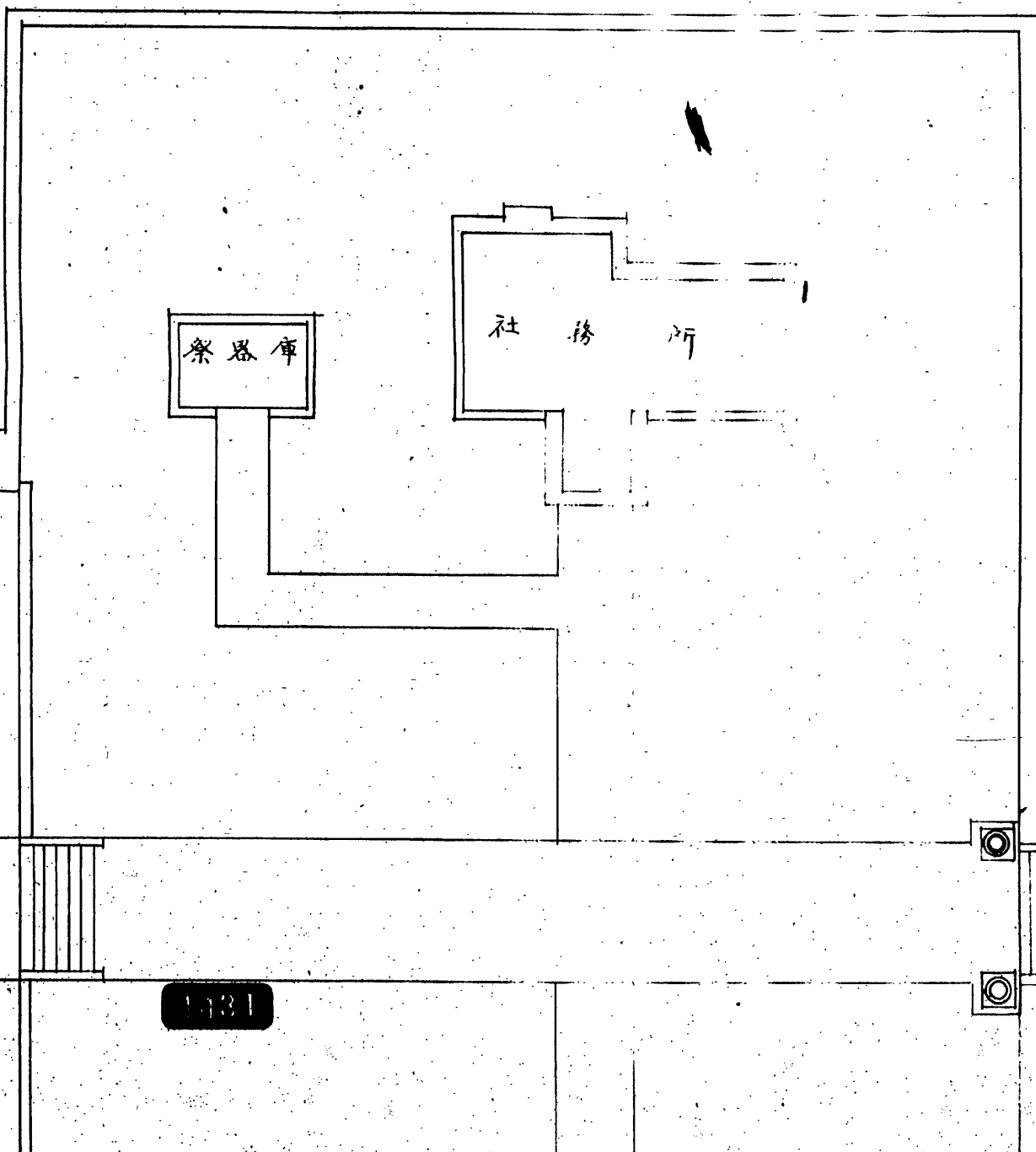


分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



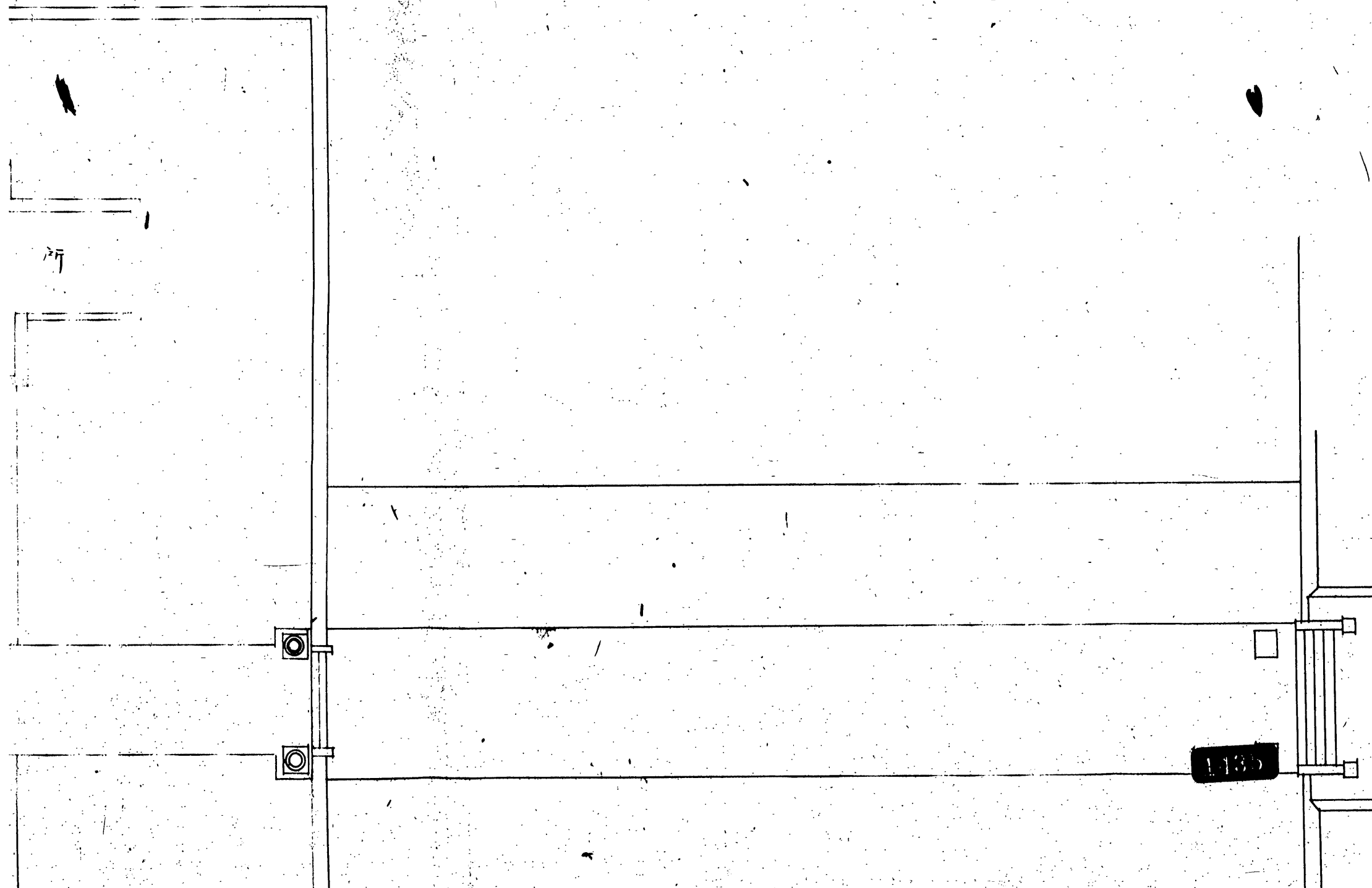
1131

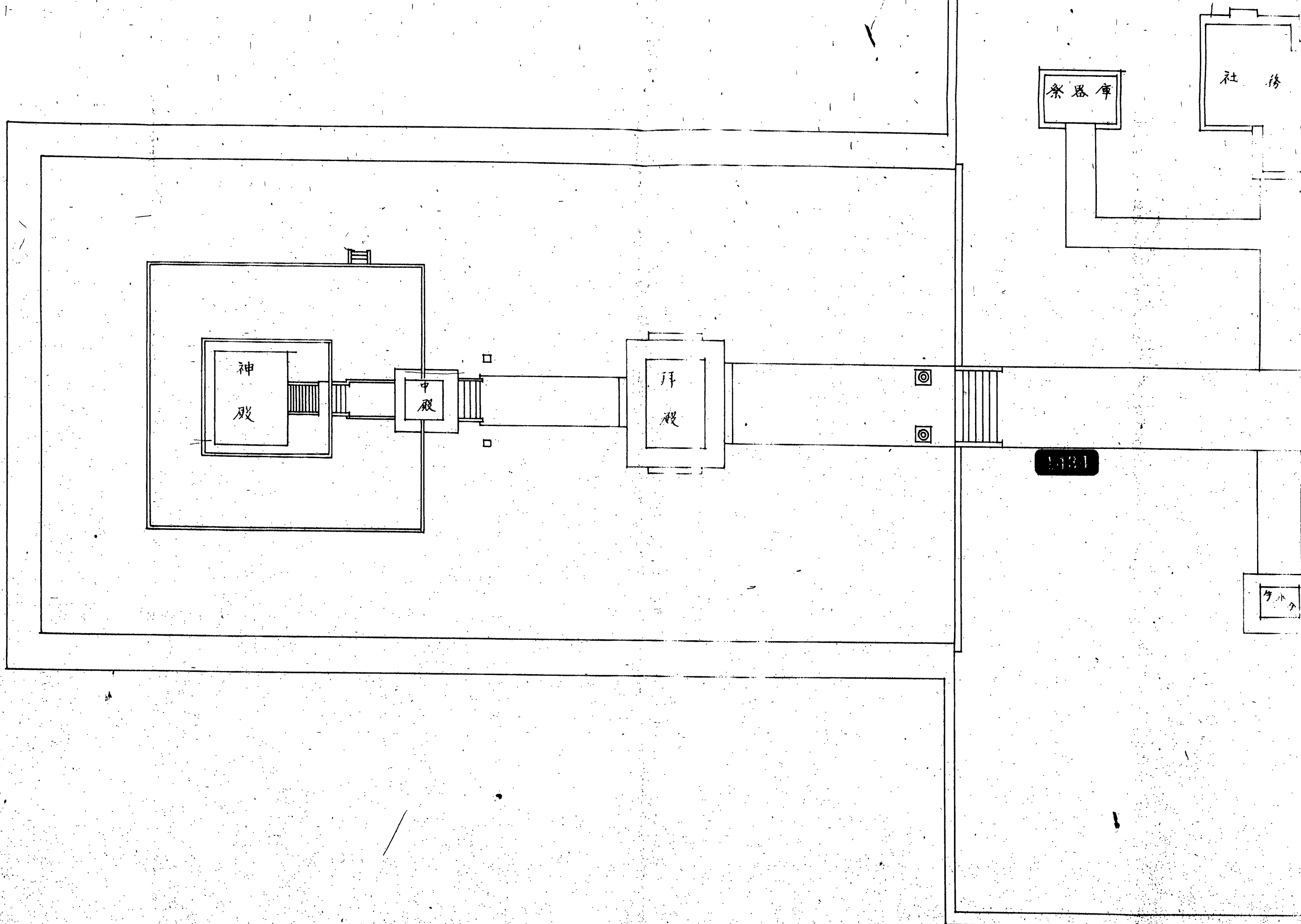


配置圖縮尺貳百分之一

大日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事設計圖

配置圖縮尺貳百分之一





1431

ケル

祭器庫

社務所

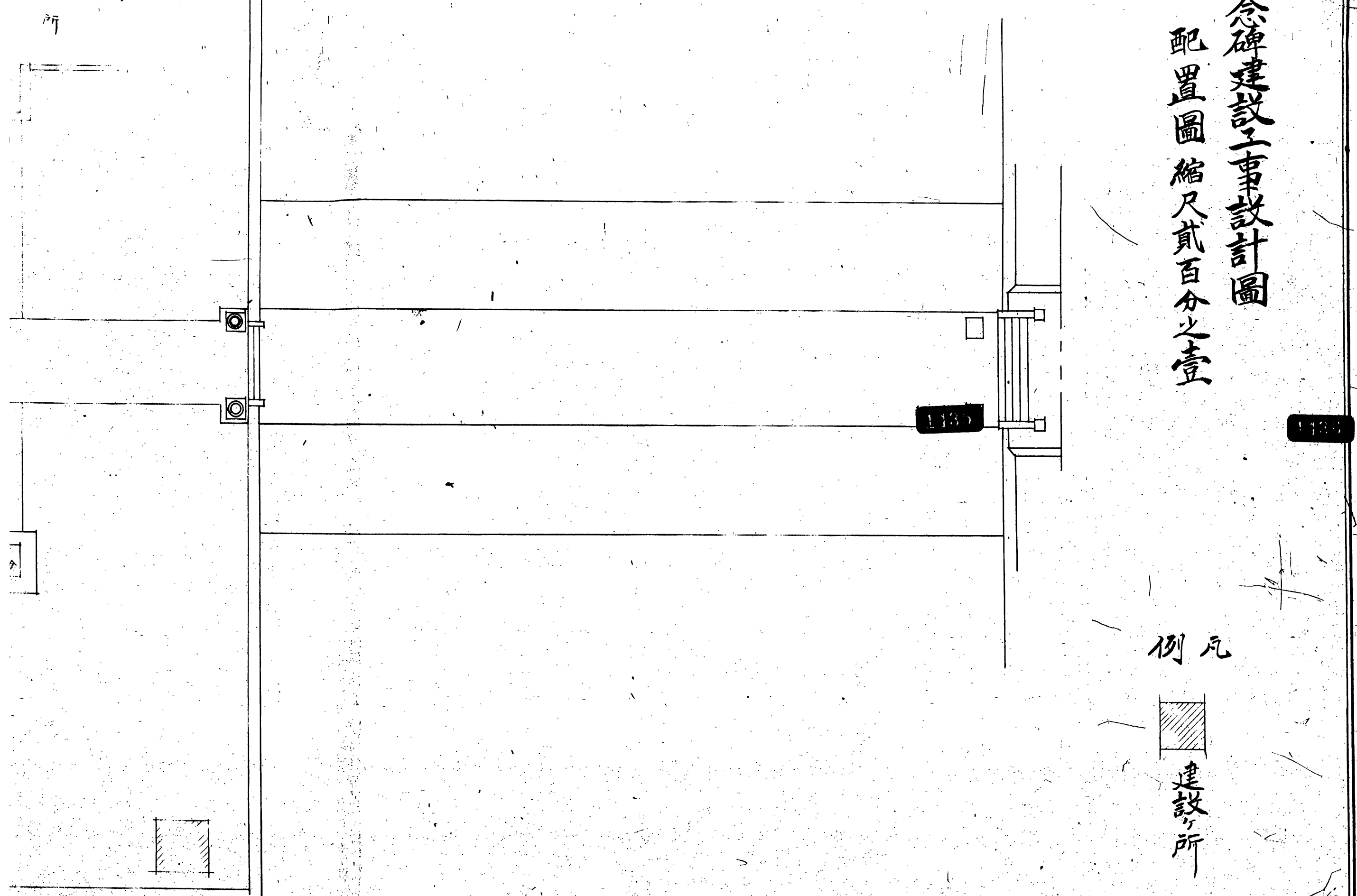
1431

テント

1135

殉職記念碑建設工事設計圖

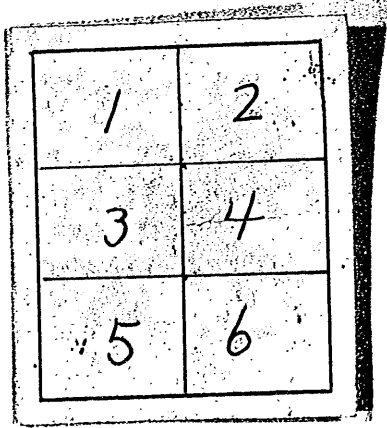
配置圖縮尺貳百分之壹

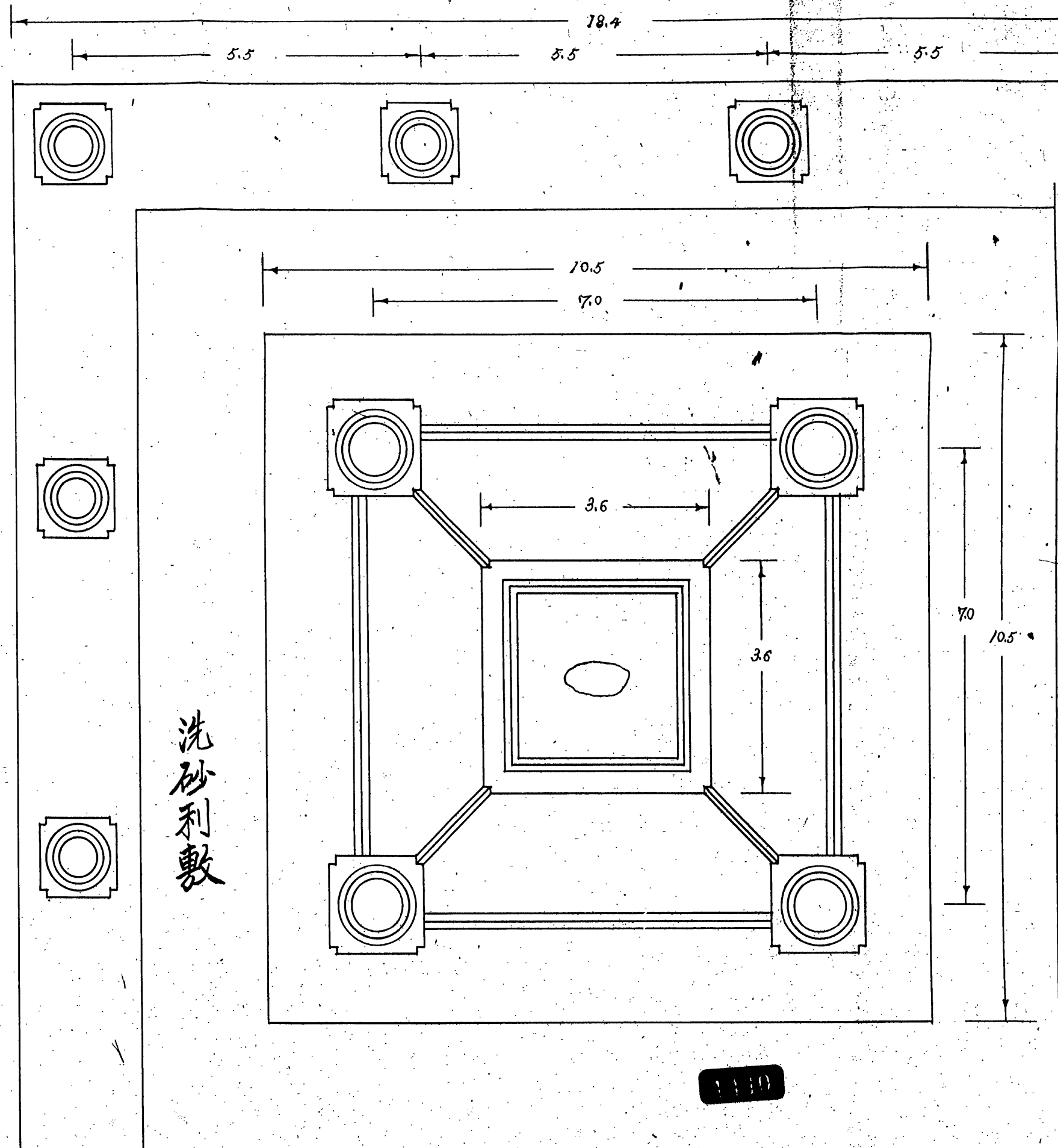


例 瓦

建設所

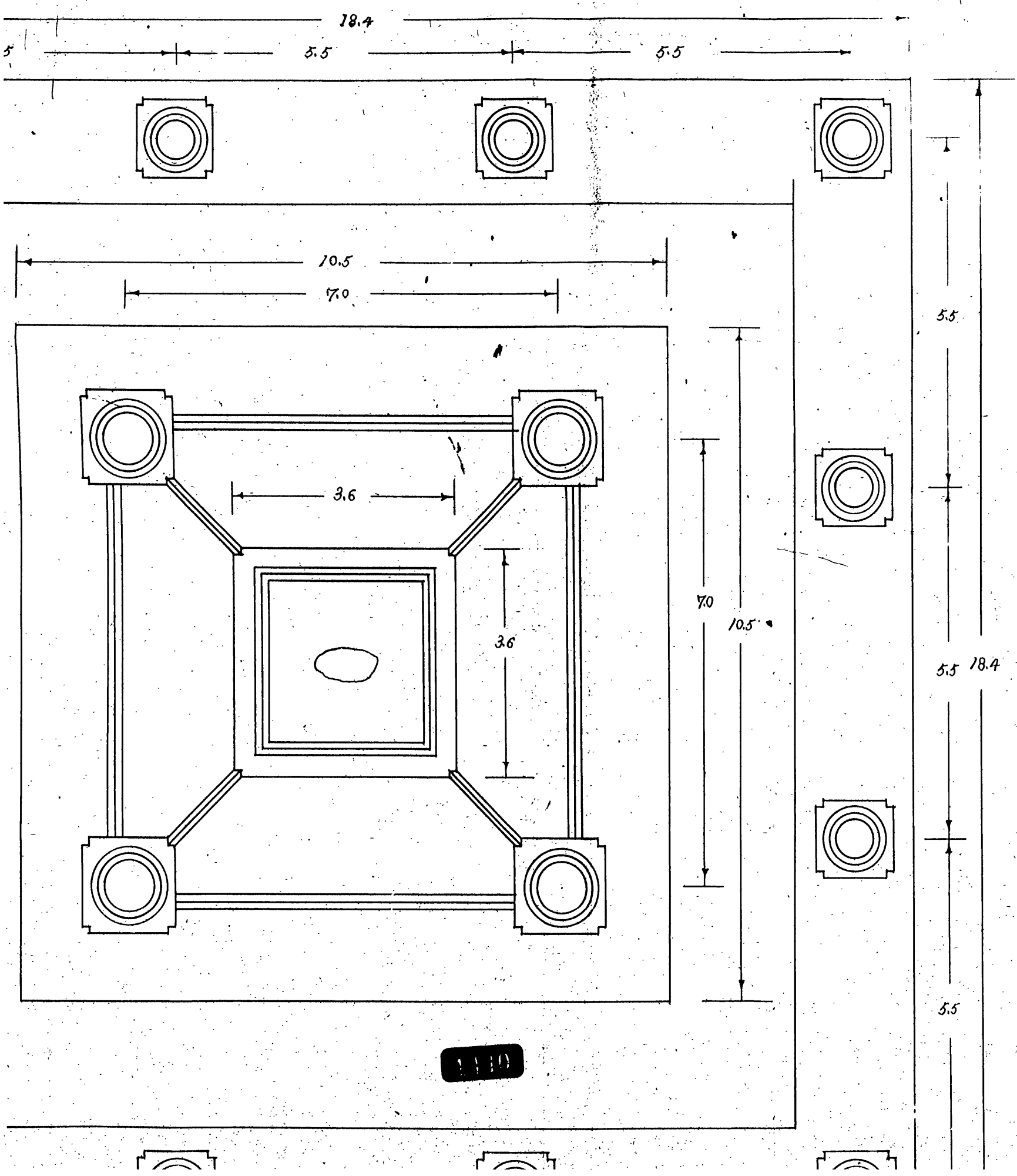
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	



日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事設計書

縮尺各貳拾分ノ壹

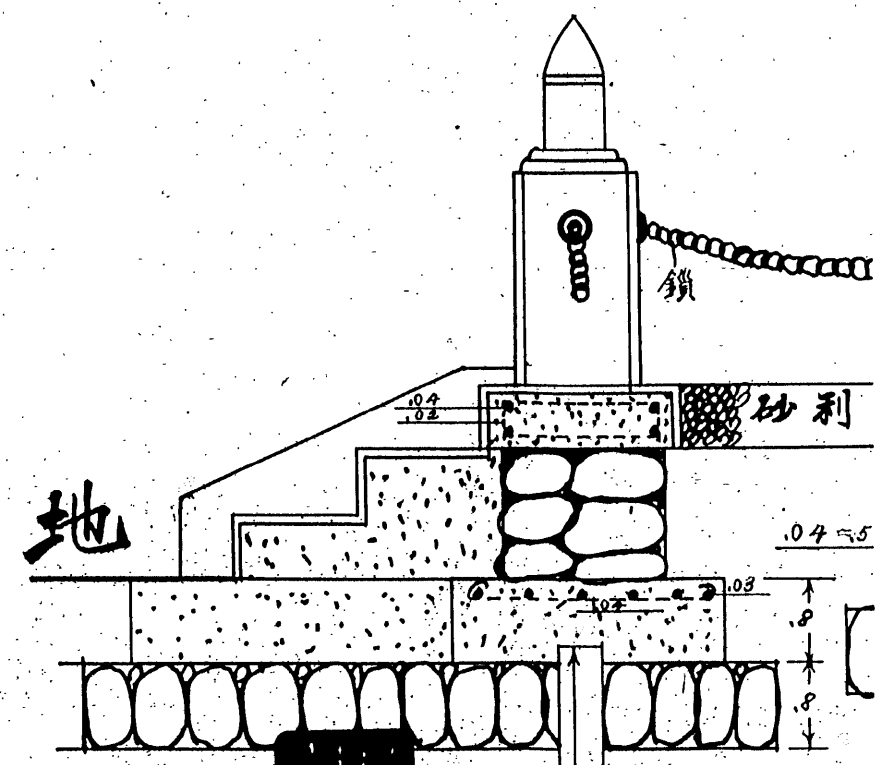
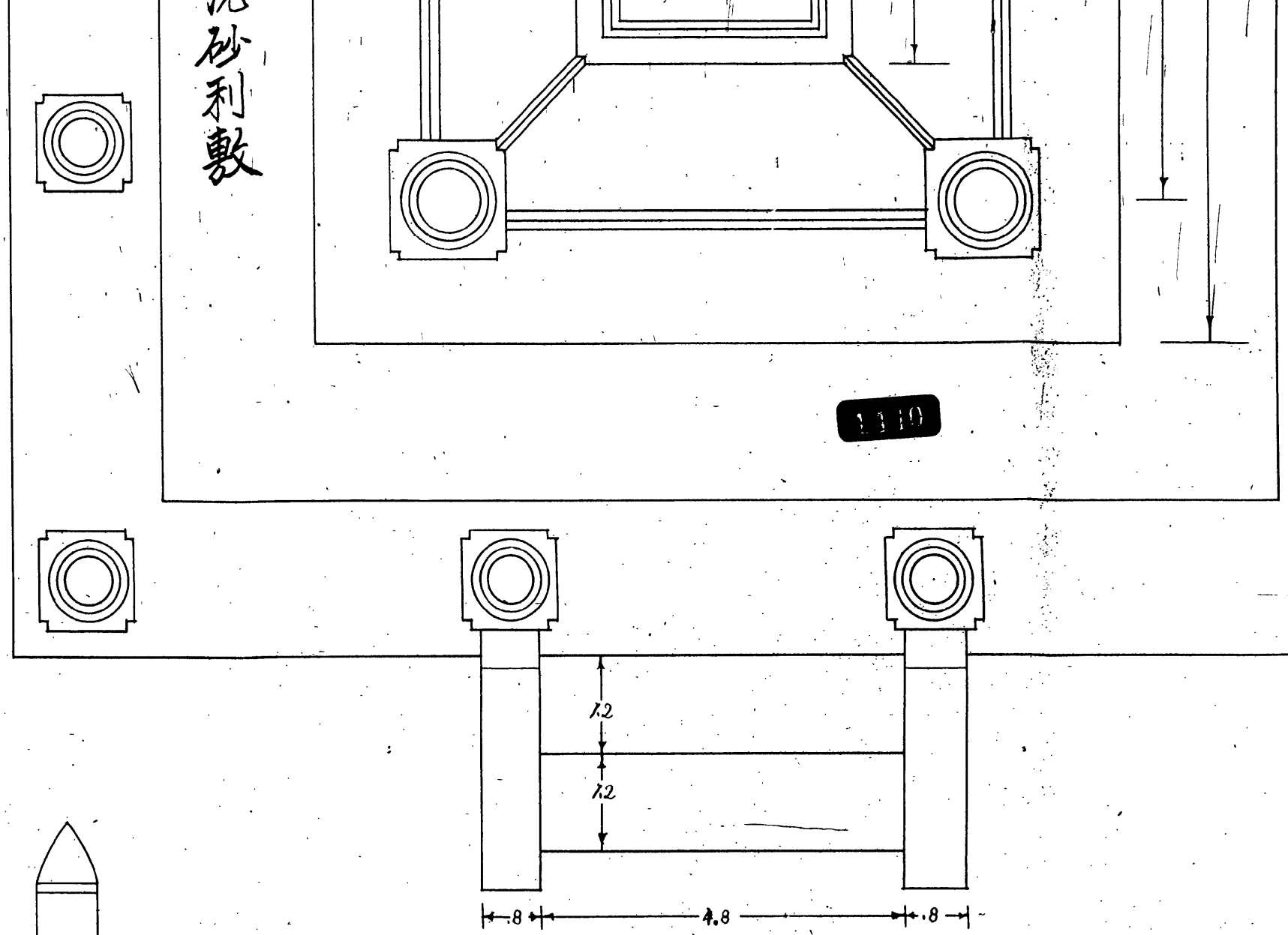
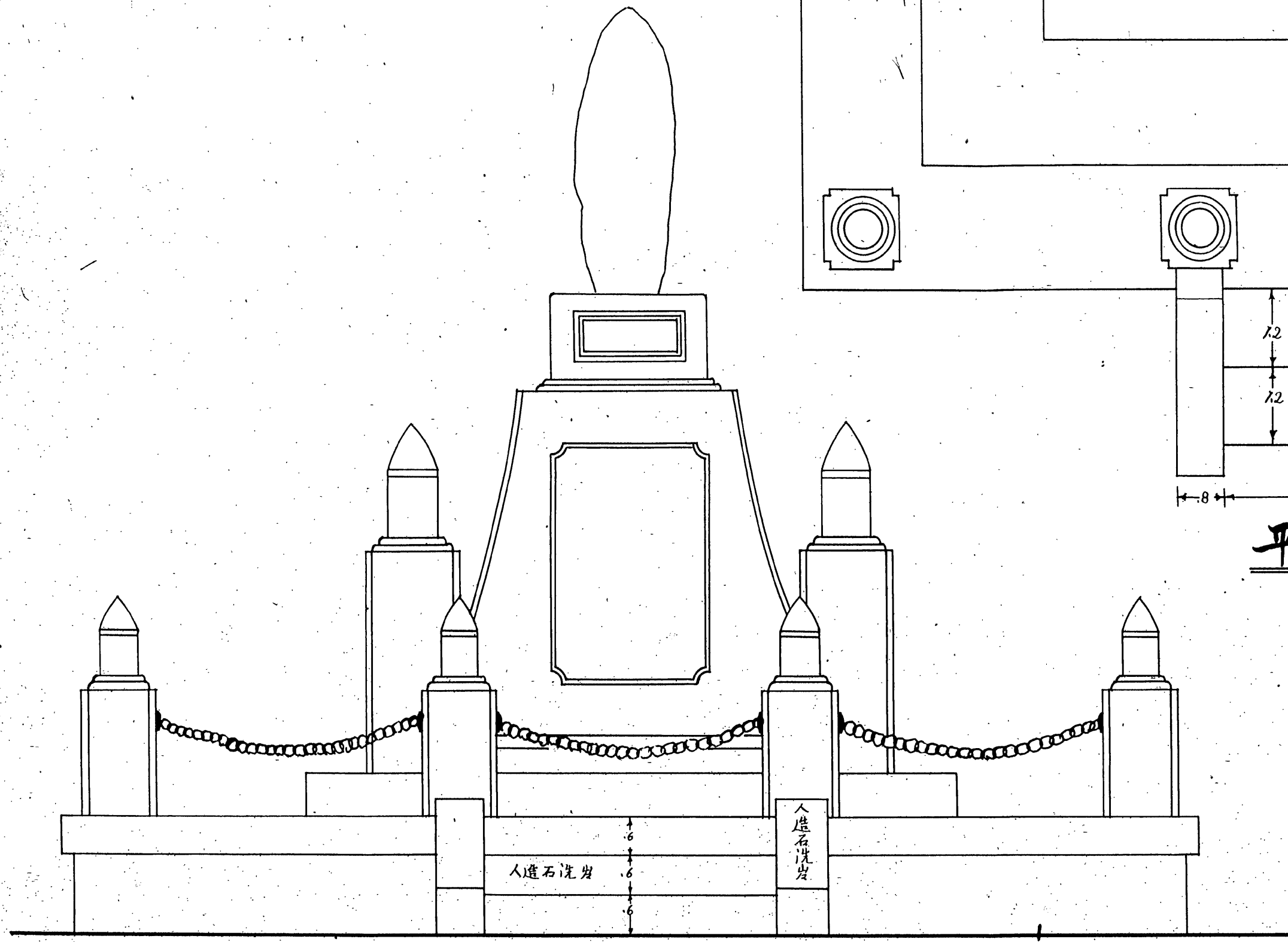


自然石

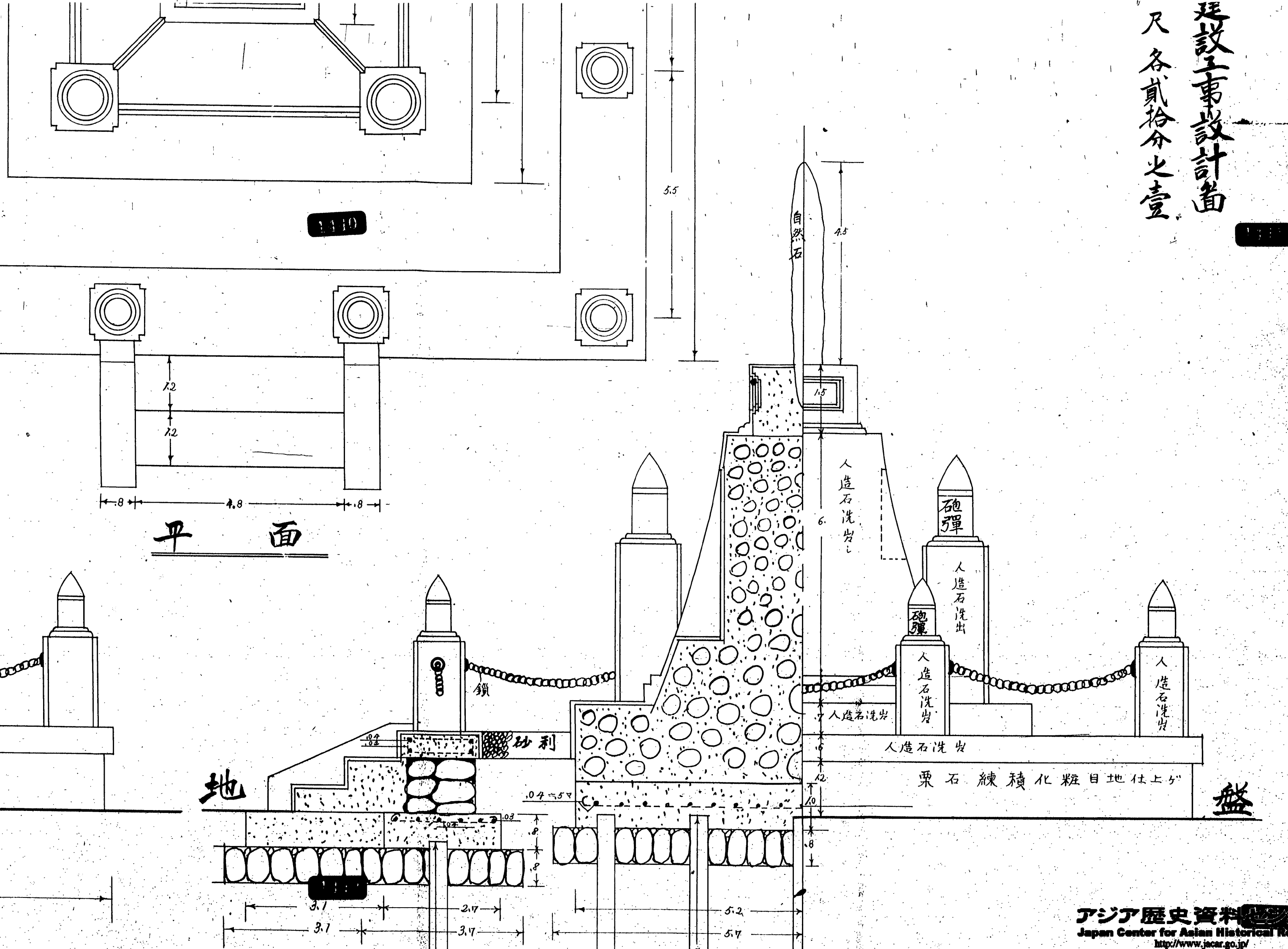
沈砂利敷

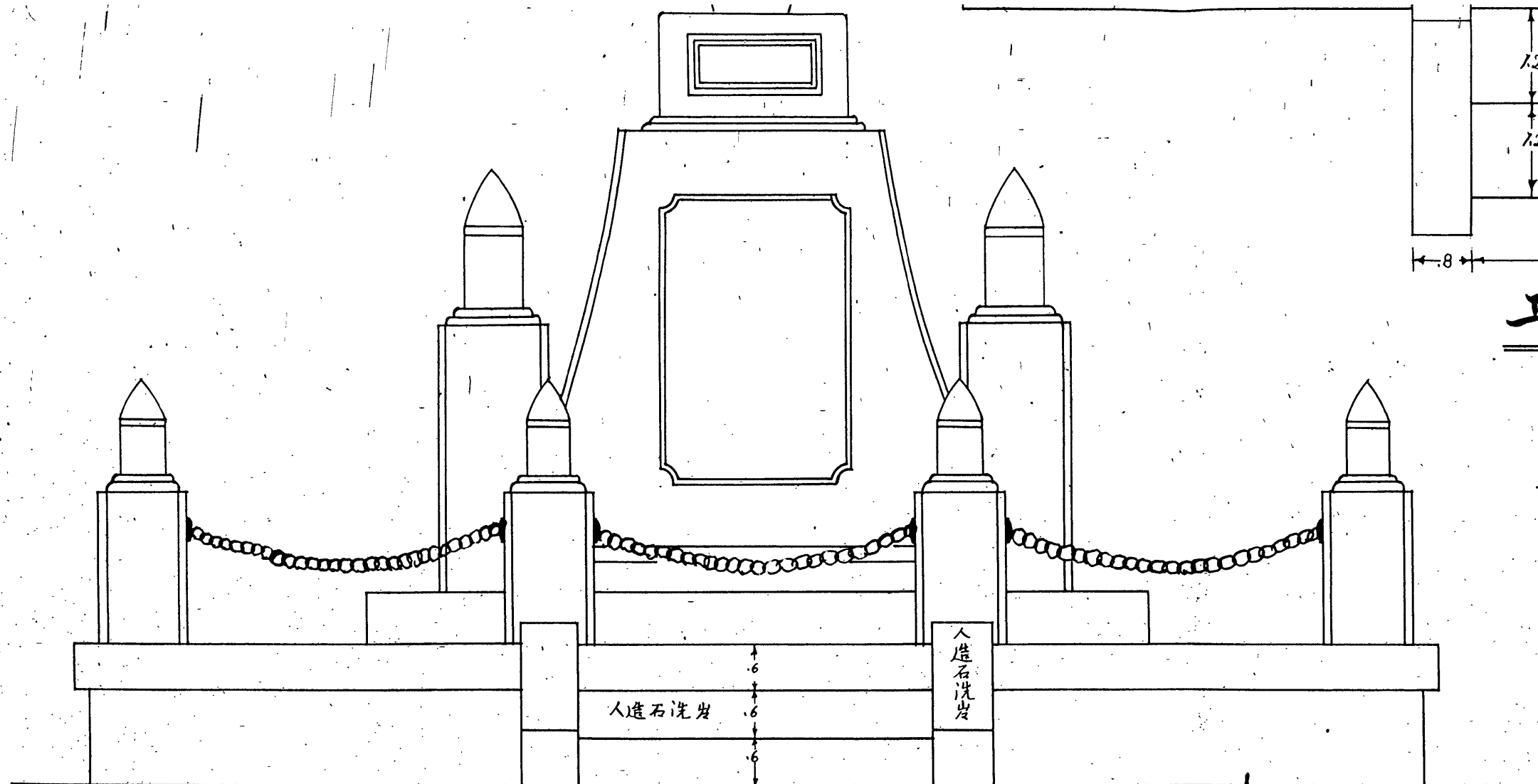
1110

平面

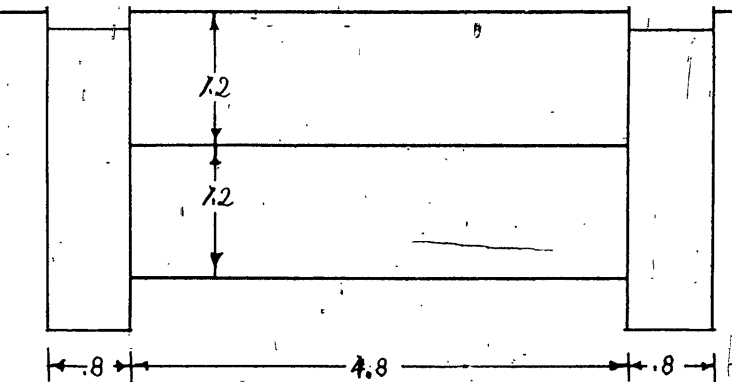


建設工事設計書
尺各貳拾分一壹

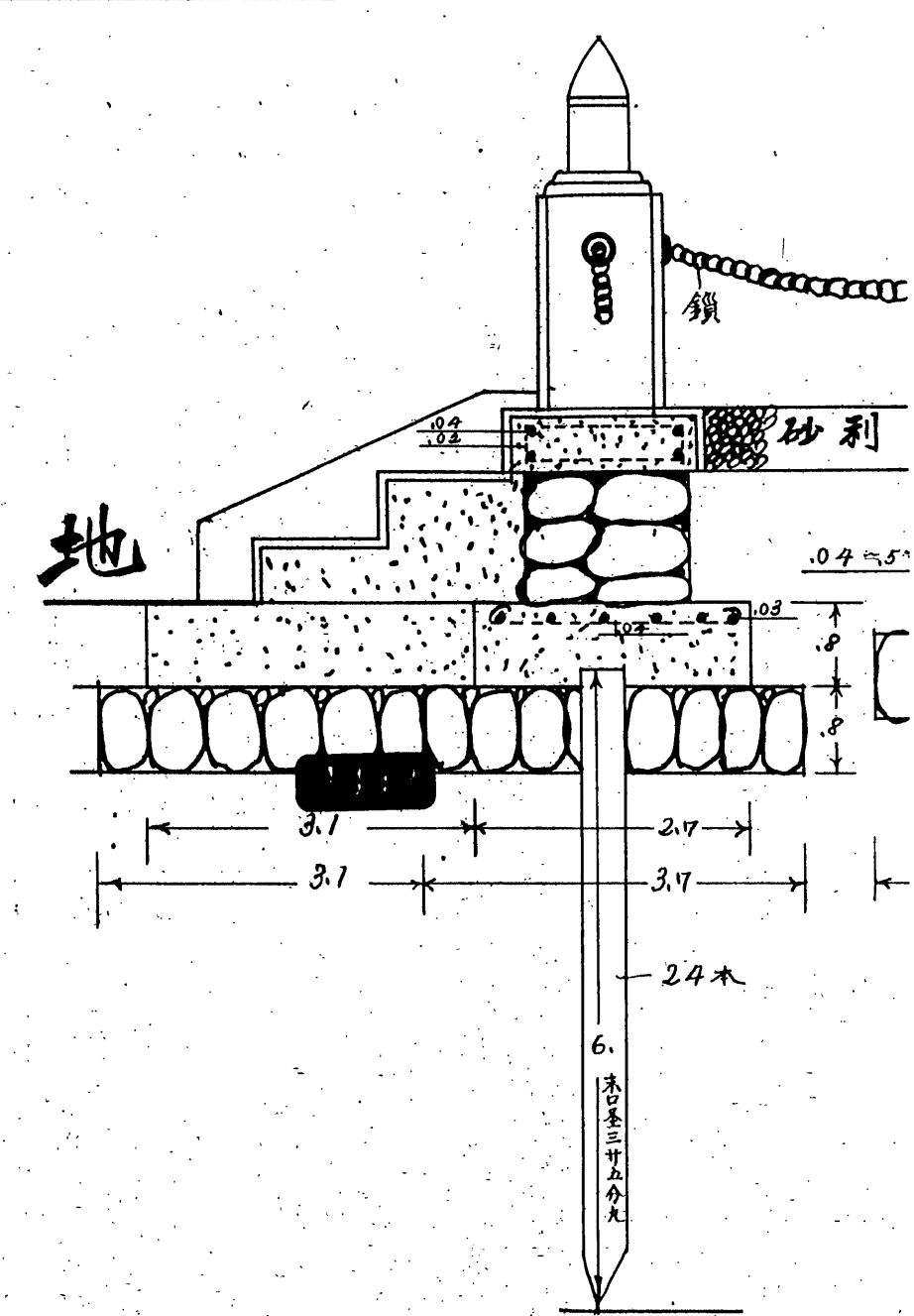




正面



平面



地

1446

日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事設計書

設計書

一金六百円也

但し大日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事

内譯

名	品	種	高	厚	數量	單位	單	價	小	計	摘	要					
水盛置形					一	リ			五	〇							
基礎杭	内地杉	九尺	木口金要丸	ニ	五	リ	本	一	五	〇	三	七	五	〇	打込、牛間共		
全	全	大尺	木口金要丸	二	四	〇	全	一	リ	リ	二	四	〇	〇	全		
基礎石	礎石	八尺以上		一	四	〇	立坪	一	六	〇	〇	二	二	四	〇		
混凝土	川砂利	四		一	七	リ	全	七	五	リ	リ	一	二	七	五	リ	鉄筋混凝土用
全	川砂利	大		一	二	リ	全	六	五	リ	リ	七	八	リ	リ		
栗石	玉石	全	全	四	七	立坪	二	四	〇	〇	〇	一	二	八	〇		混凝土用
全	礎石	八尺以上		五	八	全	一	六	〇	〇	〇	九	三	八	〇		練積用

名 稱	品 種	材 質	数 量	單 位	單 價	小 計	備 考
モルタル	砂	モルタル	三	切	六〇〇	一八六〇	練積用
金造石洗炭			二	面坪	四〇〇	八四〇	
鉄筋計	軟鋼		一五	貫	三五〇	四三七五	
石工工事			一	式		二	
金 物			一	全		三	鎖其他取付用
雑工事			一	全		八八	仮枠其他
計						六〇〇	

日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事仕様書

一 大日本帝國軍艦海門乘組將士殉職記念碑建設工事仕様書

第一 壹部

一 記念碑 混泥土造り

第二 法

敷巾 拾八尺四寸
高サ 地盤ヨリ碑石上端迄 拾四尺五寸

壹基

第三 貳部

右仕様

一 位置 本工事ハ別紙配置片係員ノ指示ノ各所ニ建設スルモノ

トス

一 仮設工事

本工事用材料置場下小屋係員詰所等係員ノ指示ニ依リ建設ナ

ス事竣功ト全時ニ取拂跡片付ケ共モ充分ナスベシ

一 水盛遣形其他

記念各隅々水杭堅固ニ打込ミ杭頭矢筈ニ切揃ヘ係員立会ノ基

ニ水平ニ水盛ナシ水貫大貫鉋削リノ上通り能ク打付ケ真墨其

他ノ符号ヲ記スベシ

一 基礎工事

一 杭木各廿法圖面ニ基キ木拆ヘナシ係員ノ指示ニ依リ掘當ノ法

ヲ持テ打込ムベシ

基礎固面ニ基キ城形ナシ下地充分搗固メ目潰砂利共モ入レ更ニ全様搗固ム
ベ立テ大脚ニテ充分搗固メ目潰砂利共モ入レ更ニ全様搗固ム
ベシ

一 混泥土工事

攪拌各々圖面モ係員ノ指示ニ依リ板割ヲ持テ堅固ニ且ツ漏水
セザル様取り計クベシ
混泥土左記調合ニ依リ乾練モ水練共モ同一色ヲ呈スル迄テ練
下地各充分水洗ヒ、後々該圖面ニ依リ打テ込ミ上端不陸ナキ
様充分搗固キ締ムベシ

記

一 基礎其他用セメント壺川砂利六(貳分)以上壹廿目以下
一 鉄筋混泥土用セメント壺川砂利四(貳分)以上八分目以下
但シ玉石混泥土ハ係員ノ指示ニ依リ栗石面ノ接觸セザル様注
意スベシ

一 混泥土モルタル用材料

一 セメントハ浅野又ハ小野田製ノ貳種トシ所定ノ検査ニ合格ス

ルモノトス

一 砂ハ川砂ニシテ泥土塵埃其他ノ不純物ヲ含有セザル硬質ノモ

ノトス

一 砂利ハ川砂利ニシテ泥土塵埃其他ノ不純物ヲ含有セザル硬質ノ

- モロニシテ所定ノ方法ヲ有シ數回清水ニテ洗滌ナシタルモノトス
- 一 役粹取外シハ混凝土ノ硬化ヲ見計ヒ係員ノ指示ニ依リ入念取外スベシ
- 一 養生混凝土打ケ後上塗施行後ハ直接日光風雨ニ曝サハル様濡遊其他、モノニテ覆ヒラナレ日々數回撒水ナスベシ
- 一 石積工事
- 一 積石礎礎石全毫尺以上ノ硬質ノモノニテ積モルタルモノトモ川砂參ノ配合モルタルニテ敷ト口注ギト口共モ充分施シ所定ノ高サニ積上ルベシ
- 一 金物工事
- 一本工事用砲彈其鎖ハ支給ス 但シ鎖取付ケ金物ハ係員ノ指示ニ依リ止トラ調製スベシ
- 一 碑石ハ支給ス 碑石ニ彫込ハ文字ハ係員ノ指示ニ依リ入念彫込掘リ能ク堅固ニ取り付ケノコト
- 一 殉職將士名ハ拾寸ノ銅板ニ彫リ込ミ係員ノ指示ニ依り碑石台裏側ニ堅固ニ取り付ケノコト
- 一 左官工事
- 一 石積ノ各所ハ下地充分水洗ヒノ後セメントモルタル砂貳リモルタルニテハ念此類目地仕上ゲトス

一人造石洗岩塗り終テ下地充分水沙ヒ、後セメント壺川砂參ノ
 モルタルニテ塗り立テ中塗りセメント壺石灰〇五ノ割合ニテ
 形板使用シ通り能ク塗り立テ上塗り下付ケセメント壺石灰〇
 五上塗りセメント壺石灰〇五ノ割合ニテ塗り立テ形
 板使用押ハ鍍共モ充分ナシ硬化ヲ見計ヒ村ナキ様洗岩ニ仕上
 ゲトス石粒ハ総テ花崗石トス
 但し正面台ニハ係員ノ指示ニ海軍章ノ浮出飾ヲ付スルコト
 一砂利敷砂利ハ川砂利ヲ藉テ各面ノ通り入念敷ルベシ
 一砂利ハ全分因以上大分目以下ノ砂利トス
 一本五事用材ハ総テ係員ノ検査ヲ受ケ合格品ヲ使用スベシ
 一本五事中細部合ニテ技術上ノ常識ニ照ラシ必要ト認め
 ルモノハ設計書仕様並圖面ニ明記ナシト雖モ係員ノ指示ニ依
 リ直チニ止リテ施行スベシ

以上